

# 景況レポート

No. 150

2025年 1月～3月期



## 北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1  
電話(代) 0157-24-7531  
URL: <https://www.shinkin.co.jp/kitami/>  
本レポートはホームページでもご覧になれます。

## 景気動向

### 道内景気

日本銀行札幌支店が4月1日に発表した3月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で『20』となり、前回の調査『19』から改善しました。内訳では、製造業(前回6→今回8)は改善、非製造業(前回24→今回24)は横ばいでした。2025年6月までの全産業での先行き予測は12と、悪化の見通しです。

また4月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。観光は、増加している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、緩やかに増加している。住宅投資は、下げ止まっている。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【公共投資】 高水準で推移している。

【個人消費】 百貨店は、回復している。スーパーは、底堅い動きとなっている。コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、緩やかに増加している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。サービス消費は、緩やかに増加している。

【観光】 増加している。

【新設住宅着工戸数】 持家は下げ止まりつつある。貸家は、緩やかに回復している。分譲は、減少している。

【生産(鉱工業生産)】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は、回復しつつある。金属製品は、弱めの動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価(除く生鮮食品)】 前年比3%台前半のプラスとなっている。

【企業倒産】 横ばい圏内の動きとなっている。

### 地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲11と3ポイントの改善、収益は▲21と4ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は1、収益DI値は3となり、ともに改善の見通しとなっています。

## 特別調査 【外国人・海外情勢と中小企業】

少子高齢化が進むなか、労働力や売上先として外国人の重要性が高まっていくと考えられます。今回は、外国人雇用や外国向け売上を調査するとともに、特別質問として、昨年に引き続き賃上げの状況についても調査しました。

### 【外国人との接触機会とビジネスチャンスを増やす意向】

外国人との接触機会は、「コロナ前を上回っている(10.6%)」、「コロナ前とほぼ同水準(32.2%)」との回答が全国水準を下回り、「わからない(52.8%)」との回答が全国水準を上回っています。一方ビジネスチャンスを増やす意向では、「ある」との回答合計(21.7%)が全国水準(29.8%)を下回っています。

### 【外国人労働者の割合と未雇用の理由】

「雇用している」との回答の合計(5.5%)が全国水準(19.2%)を大きく下回っています。未雇用の理由については「受入負担(就労環境整備、育成コスト等)が重い(27.4%)」、「雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い(12.3%)」の回答が全国水準を上回っています。

### 【外国人(旅行客を含む)、外国企業向けの売上げ比率】

「外国向けの売上げはない(85.6%)」が最も多く、全国水準を上回っています。「外国向けの売上げがある」との回答においては「10%未満(12.7%)」が最も多く、全国水準を下回っています。

### 【外国向け売上げ増加のための取組み内容もしくは取組み未実施理由】

「国内だけで十分な売上げがある(44.1%)」が最も多く、「外国向けの取組みを行っている」との回答の合計(7.9%)は全国水準(11.3%)を下回っています。

### 【賃金引上げ率もしくは引上げ未実施理由】

賃金引上げ率は「0%以上2%未満(21.8%)」が最も多く、全国水準と同程度となりましたが、引上げするとの回答合計(49.2%)は全国水準(51.1%)を下回りました。一方、引上げないという回答の中では、「自社に従業員はいない(14.0%)」、「これまでに賃金を引上げ済み(10.0%)」、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない(9.5%)」の順となっています。

【昨今貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触する機会がコロナ前の水準に戻っているという実感はありますか。あてはまるものを1から4の中から1つ選んでお答えください。また、外国とのかかわりの中で今後ビジネスチャンスを増やしたいという意向はありますか。5から9の中から1つ選んでお答えください。】

| 外国人との接触機会      |       | 《全国》  |
|----------------|-------|-------|
| 1. コロナ前を上回っている | 10.6% | 14.6% |
| 2. コロナ前とほぼ同水準  | 32.2% | 35.5% |
| 3. コロナ前を下回っている | 4.4%  | 4.3%  |
| 4. わからない       | 52.8% | 45.6% |

| ビジネスチャンスを増やす意向 |       | 《全国》  |
|----------------|-------|-------|
| 5. 大いにある       | 5.0%  | 6.1%  |
| 6. どちらかというところ  | 16.7% | 23.7% |
| 7. どちらかというところ  | 22.8% | 25.4% |
| 8. まったくない      | 22.2% | 17.6% |
| 9. わからない       | 33.3% | 27.2% |

【貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している場合は、従業員全体に占める外国人労働者の割合を1から6の中から1つ選んでお答えください。また、雇用していない場合は、外国人労働者を雇用していない理由を7から0の中から1つ選んでお答えください。】

| 外国人労働者を雇用している |      | 《全国》  |
|---------------|------|-------|
| 1. 50%以上      | 0.0% | 0.6%  |
| 2. 40%～50%    | 0.5% | 0.7%  |
| 3. 30%～40%    | 0.0% | 1.0%  |
| 4. 20%～30%    | 0.5% | 1.7%  |
| 5. 10%～20%    | 1.7% | 3.6%  |
| 6. 10%未満      | 2.8% | 11.6% |

| 外国人労働者を雇用していない             |       | 《全国》  |
|----------------------------|-------|-------|
| 7. 人手が充足しており必要ない           | 35.8% | 35.3% |
| 8. 受入負担(就労環境整備、育成コスト等)が重い  | 27.4% | 17.0% |
| 9. 雇用の方法が分からない、行政手続きの負担が重い | 12.3% | 5.7%  |
| 0. コミュニケーションなどで心配がある       | 19.0% | 22.8% |

【貴社では、売上全体に占める外国人(旅行客を含む)、もしくは外国企業向けの売上げ(輸出を含む)はどれくらいですか。あてはまるものを1から6の中から1つ選んでお答えください。売上げがない場合は7を選択ください。】

| 外国向けの売上げがある    |       | 《全国》  |
|----------------|-------|-------|
| 1. 50%以上       | 0.0%  | 0.7%  |
| 2. 40%～50%     | 0.0%  | 0.7%  |
| 3. 30%～40%     | 0.0%  | 1.0%  |
| 4. 20%～30%     | 0.6%  | 1.6%  |
| 5. 10%～20%     | 1.1%  | 3.6%  |
| 6. 10%未満       | 12.7% | 15.7% |
| 7. 外国向けの売上げはない | 85.6% | 76.7% |

【貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか。行っている企業は、特に行っている取組みについて1から5の中から1つ選んでお答えください。行っていない企業は、行っていない理由について6から0の中から1つ選んでお答えください。】

| 外国向けの取組みを行っている      |      | 《全国》 |
|---------------------|------|------|
| 1. 製品・商品・サービス面の開発強化 | 1.7% | 3.4% |
| 2. 営業力の強化           | 2.3% | 3.5% |
| 3. ネットや広告による情報発信    | 2.3% | 2.8% |
| 4. 海外拠点の設置・強化       | 0.5% | 1.0% |
| 5. その他              | 1.1% | 0.6% |

| 外国向けの取組みを行っていない   |       | 《全国》  |
|-------------------|-------|-------|
| 6. 国内だけで十分な売上げがある | 44.1% | 46.2% |
| 7. 何をすればいいのかわからない | 19.2% | 19.4% |
| 8. 人材が不足している      | 7.9%  | 6.0%  |
| 9. 資金面で余裕がない      | 11.9% | 8.7%  |
| 0. その他            | 9.0%  | 8.4%  |

【貴社では、人材定着などに向けて、2025年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率について1から4の中から1つ選んでお答えください。また、引上げない場合は引上げなかった理由について5から0の中から1つ選んでお答えください。】

| 引上げ         |       | 《全国》  |
|-------------|-------|-------|
| 1. 0%以上2%未満 | 21.8% | 21.4% |
| 2. 2%以上4%未満 | 19.0% | 19.7% |
| 3. 4%以上6%未満 | 6.7%  | 7.9%  |
| 4. 6%以上     | 1.7%  | 2.1%  |

| 引上げない                 |       | 《全国》  |
|-----------------------|-------|-------|
| 5. 賃上げに見合う価格転嫁ができていない | 9.5%  | 11.0% |
| 6. 同業や同地域内の他社が上げていない  | 1.1%  | 2.0%  |
| 7. 今後の業績見通しが不透明       | 8.9%  | 12.5% |
| 8. 売上の低迷や伸び悩み         | 7.3%  | 5.8%  |
| 9. これまでに賃金を引上げ済み      | 10.0% | 7.5%  |
| 0. 自社に従業員はいない(家族経営など) | 14.0% | 9.9%  |

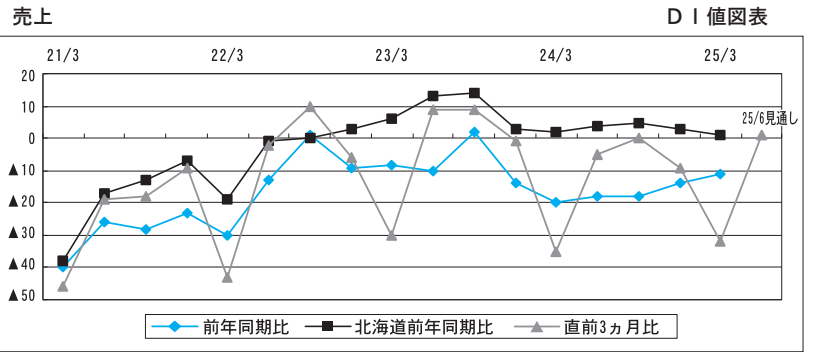
売上

調査対象先企業181社の売上を総体的にみますと、前年同期（24年1～3月）と比較して「増加」した先23%、「変わらず」の先43%、「減少」した先34%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲11となり、前回調査より3ポイント改善しました。

業種別で見ますと、製造業、建設業、サービス業は改善、卸売業、小売業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



| 調査時期  | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 前年同期比 | ▲40  | ▲26  | ▲28  | ▲23   | ▲30  | ▲13  | 1    | ▲9    | ▲8   | ▲10  | 2    | ▲14   | ▲20  | ▲18  | ▲18  | ▲14   | ▲11  |

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

| 調査時期     | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|----------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 北海道前年同期比 | ▲38  | ▲17  | ▲13  | ▲7    | ▲19  | ▲1   | 0    | 3     | 6    | 13   | 14   | 3     | 2    | 4    | 5    | 3     | 1    |

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

| 調査時期   | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|--------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 直前3ヵ月比 | ▲46  | ▲19  | ▲18  | ▲9    | ▲43  | ▲2   | 10   | ▲6    | ▲30  | 9    | 9    | ▲1    | ▲35  | ▲5   | 0    | ▲9    | ▲32  | 1       |

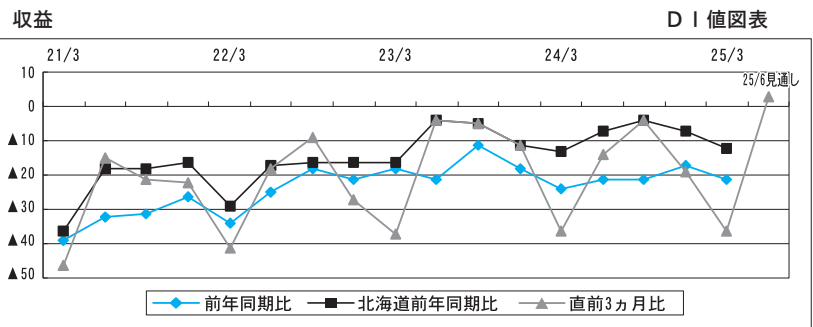
収益

調査対象先企業181社の収益を総体的にみますと、前年同期（24年1～3月）と比較して「増加」した先18%、「変わらず」の先43%、「減少」した先39%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲21となり、前回調査より4ポイント悪化しました。

業種別で見ますと、製造業、卸売業、建設業は改善、小売業、サービス業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では悪化、今後3ヵ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



| 調査時期  | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 前年同期比 | ▲39  | ▲32  | ▲31  | ▲26   | ▲34  | ▲25  | ▲18  | ▲21   | ▲18  | ▲21  | ▲11  | ▲18   | ▲24  | ▲21  | ▲21  | ▲17   | ▲21  |

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

| 調査時期     | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|----------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 北海道前年同期比 | ▲36  | ▲18  | ▲18  | ▲16   | ▲29  | ▲17  | ▲16  | ▲16   | ▲16  | ▲4   | ▲5   | ▲11   | ▲13  | ▲7   | ▲4   | ▲7    | ▲12  |

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

| 調査時期   | 21/3 | 21/6 | 21/9 | 21/12 | 22/3 | 22/6 | 22/9 | 22/12 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|--------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 直前3ヵ月比 | ▲46  | ▲15  | ▲21  | ▲22   | ▲41  | ▲18  | ▲9   | ▲27   | ▲37  | ▲4   | ▲5   | ▲11   | ▲36  | ▲14  | ▲4   | ▲19   | ▲36  | 3       |

概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（24年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先26%、「変らず」の先45%、「減少」した先29%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲3となり、前回調査より7ポイント改善しました。

収益は「増加」した先19%、「変らず」の先46%、「減少」した先35%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲16となり、前回調査より3ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

|    |               | 増加 | 変らず | 減少 | D I 値 |
|----|---------------|----|-----|----|-------|
| 売上 | 前回<br>(24/12) | 9  | 10  | 12 | ▲10   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 8  | 14  | 9  | ▲3    |
| 収益 | 前回<br>(24/12) | 8  | 9   | 14 | ▲19   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 6  | 14  | 11 | ▲16   |

動向

【前年同期との比較】

売上、収益ともに改善しました。

内訳をみますと、食料品と木材製品は改善、建設関連、その他は悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化となりました。

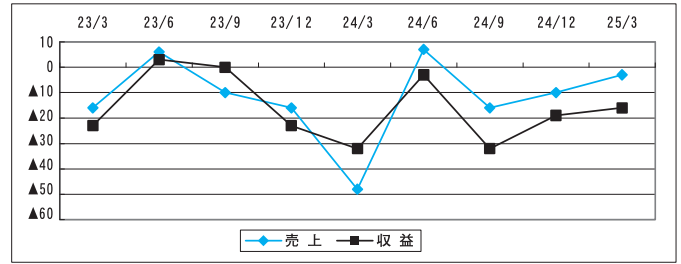
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「主販売先の業況安定により当社も安定基調」、「有限資材の内需販売につき将来的な不足懸念はあり」、「道外向けの仕事が複数あり業況無難に推移」「道内一円に事業展開しており相応に受注確保している」、「受注数の減少から販路拡大に向けて営業活動を実施」といったものがありました。

前年同期比

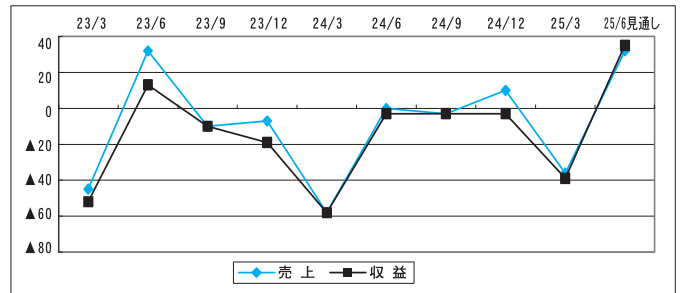
D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上   | ▲16  | 6    | ▲10  | ▲16   | ▲48  | 7    | ▲16  | ▲10   | ▲3   |
| 収益   | ▲23  | 3    | 0    | ▲23   | ▲32  | ▲3   | ▲32  | ▲19   | ▲16  |

直前3ヵ月比

D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上   | ▲45  | 32   | ▲10  | ▲7    | ▲58  | 0    | ▲3   | 10    | ▲36  | 32      |
| 収益   | ▲52  | 13   | ▲10  | ▲19   | ▲58  | ▲3   | ▲3   | ▲3    | ▲39  | 35      |

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（%）

| 項目    |            | 全体  | 食料品 | 木材製品 | 建設関連 | その他 |
|-------|------------|-----|-----|------|------|-----|
| 売上額   | 10月～12月と比較 | ▲36 | ▲50 | ▲56  | ▲13  | ▲17 |
|       | 4月～6月の見通し  | 32  | 63  | 45   | 25   | ▲17 |
| 収益    | 10月～12月と比較 | ▲39 | ▲50 | ▲56  | ▲25  | ▲17 |
|       | 4月～6月の見通し  | 35  | 25  | 56   | 37   | 17  |
| 販売価格  | 10月～12月と比較 | 10  | 13  | ▲11  | 25   | 17  |
|       | 4月～6月の見通し  | 26  | 25  | 22   | 38   | 17  |
| 原材料価格 | 10月～12月と比較 | 29  | 38  | 0    | 38   | 50  |
|       | 4月～6月の見通し  | 17  | 12  | 0    | 38   | 17  |
| 原材料在庫 | 10月～12月と比較 | 3   | 0   | 11   | 0    | 0   |
|       | 4月～6月の見通し  | ▲6  | 0   | ▲22  | 0    | 0   |
| 資金繰   | 10月～12月と比較 | ▲7  | 0   | ▲22  | 0    | 0   |
|       | 4月～6月の見通し  | ▲7  | ▲13 | ▲22  | 0    | 17  |

## 概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（24年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先18%、「変わらず」の先50%、「減少」した先32%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲14となり、前回調査より5ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先23%、「変わらず」の先45%、「減少」した先32%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲9となり、前回調査より5ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先27%、「変わらず」の先69%、「減少」した先4%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は23となり、前回調査より23ポイント下降しました。

## 調査回答数（前年同期比）

|      |               | 増加 | 変わらず | 減少 | D I 値 |
|------|---------------|----|------|----|-------|
| 売上   | 前回<br>(24/12) | 5  | 10   | 7  | ▲ 9   |
|      | 今回<br>(25/3)  | 4  | 11   | 7  | ▲ 14  |
| 収益   | 前回<br>(24/12) | 4  | 11   | 7  | ▲ 14  |
|      | 今回<br>(25/3)  | 5  | 10   | 7  | ▲ 9   |
| 販売価格 | 前回<br>(24/12) | 10 | 12   | 0  | 46    |
|      | 今回<br>(25/3)  | 6  | 15   | 1  | 23    |

## 動向

## 【前年同期との比較】

売上は悪化、収益は改善、販売価格は下降しました。内訳をみますと、建設関連は改善しましたが、それ以外は全体的に悪化しています。

## 【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化、販売価格は下降しました。

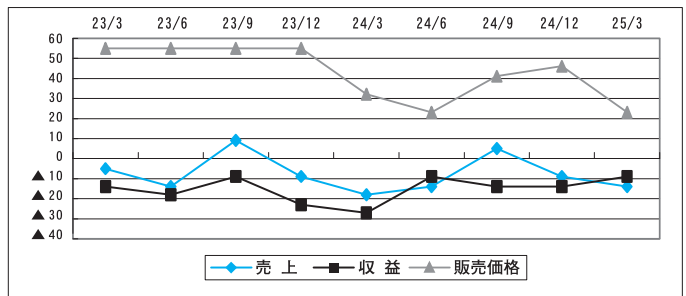
## 【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益ともに改善、販売価格は上昇の見通しです。

調査員のコメントには、「仕入価格の高騰が止まらない」、「原価上昇に伴い、売価改定、販売先交渉が活発化」、「経営管理ができる人材不足が深刻」といったものがありました。

前年同期比

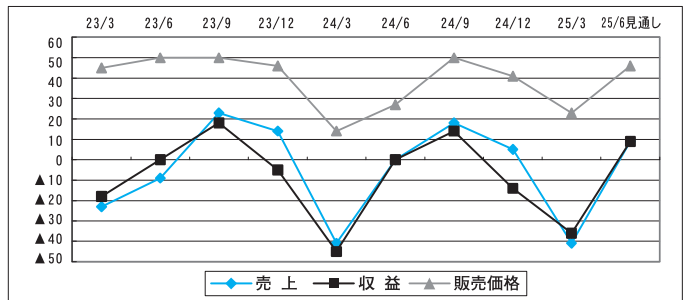
D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上   | ▲ 5  | ▲ 14 | 9    | ▲ 9   | ▲ 18 | ▲ 14 | 5    | ▲ 9   | ▲ 14 |
| 収益   | ▲ 14 | ▲ 18 | ▲ 9  | ▲ 23  | ▲ 27 | ▲ 9  | ▲ 14 | ▲ 14  | ▲ 9  |
| 販売価格 | 55   | 55   | 55   | 55    | 32   | 23   | 41   | 46    | 23   |

直前3ヵ月比

D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上   | ▲ 23 | ▲ 9  | 23   | 14    | ▲ 41 | 0    | 18   | 5     | ▲ 41 | 9       |
| 収益   | ▲ 18 | 0    | 18   | ▲ 5   | ▲ 45 | 0    | 14   | ▲ 14  | ▲ 36 | 9       |
| 販売価格 | 45   | 50   | 50   | 46    | 14   | 27   | 50   | 41    | 23   | 46      |

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（％）

| 項目   |            | 全体   | 食料品  | 建設関連 | その他  |
|------|------------|------|------|------|------|
| 売上額  | 10月～12月と比較 | ▲ 41 | ▲ 33 | ▲ 78 | 0    |
|      | 4月～6月の見通し  | 9    | 0    | 45   | ▲ 29 |
| 収益   | 10月～12月と比較 | ▲ 36 | ▲ 33 | ▲ 78 | 14   |
|      | 4月～6月の見通し  | 9    | 0    | 33   | ▲ 14 |
| 販売価格 | 10月～12月と比較 | 23   | 33   | 0    | 43   |
|      | 4月～6月の見通し  | 46   | 33   | 44   | 57   |
| 仕入価格 | 10月～12月と比較 | 36   | 50   | 22   | 43   |
|      | 4月～6月の見通し  | 50   | 50   | 44   | 57   |
| 在庫   | 10月～12月と比較 | 9    | 17   | 11   | 0    |
|      | 4月～6月の見通し  | 18   | 17   | 22   | 14   |
| 資金繰  | 10月～12月と比較 | ▲ 18 | ▲ 17 | ▲ 22 | ▲ 14 |
|      | 4月～6月の見通し  | ▲ 18 | ▲ 17 | ▲ 22 | ▲ 14 |

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（24年1～3月）と比較してみると、売上で「増加」した先17%、「変らず」の先46%、「減少」した先37%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲20となり、前回調査より8ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先12%、「変らず」の先42%、「減少」した先46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲34となり、前回調査より7ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先27%、「変らず」の先66%、「減少」した先7%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は20となり、前回調査より21ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

|      |           | 増加 | 変らず | 減少 | D I 値 |
|------|-----------|----|-----|----|-------|
| 売上   | 前回(24/12) | 8  | 20  | 13 | ▲12   |
|      | 今回(25/3)  | 7  | 19  | 15 | ▲20   |
| 収益   | 前回(24/12) | 6  | 18  | 17 | ▲27   |
|      | 今回(25/3)  | 5  | 17  | 19 | ▲34   |
| 販売価格 | 前回(24/12) | 21 | 16  | 4  | 41    |
|      | 今回(25/3)  | 11 | 27  | 3  | 20    |

動 向

【前年同期との比較】

売上、収益ともに悪化、販売価格は下降しました。内訳をみますと、食料品が大きく悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上は横ばい、収益は改善、販売価格は下降しました。

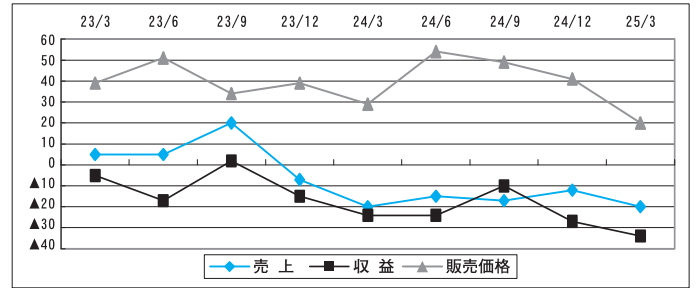
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は改善、販売価格は下降の見通しです。

調査員のコメントには、「従業員は高齢かつ後継者不在」、「問屋の廃業、変更により売場縮小を検討」、「原価の上昇がすさまじく、ぜいたく品は敬遠される傾向」、「旅行客向けの品揃えを検討」などがありました。

前年同期比

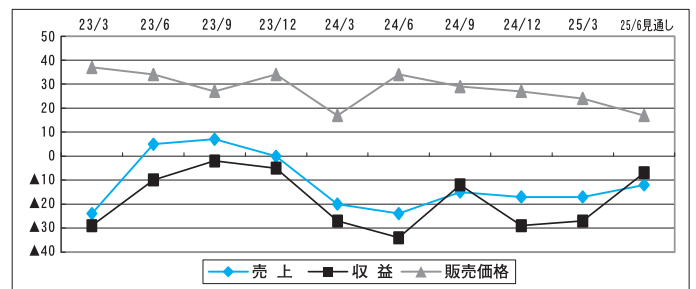
D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売 上  | 5    | 5    | 20   | ▲7    | ▲20  | ▲15  | ▲17  | ▲12   | ▲20  |
| 収 益  | ▲5   | ▲17  | 2    | ▲15   | ▲24  | ▲24  | ▲10  | ▲27   | ▲34  |
| 販売価格 | 39   | 51   | 34   | 39    | 29   | 54   | 49   | 41    | 20   |

直前3ヵ月比

D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売 上  | ▲24  | 5    | 7    | 0     | ▲20  | ▲24  | ▲15  | ▲17   | ▲17  | ▲12     |
| 収 益  | ▲29  | ▲10  | ▲2   | ▲5    | ▲27  | ▲34  | ▲12  | ▲29   | ▲27  | ▲7      |
| 販売価格 | 37   | 34   | 27   | 34    | 17   | 34   | 29   | 27    | 24   | 17      |

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（%）

| 項 目   |            | 全 体 | 衣 料 品 | 食 料 品 | そ の 他 |
|-------|------------|-----|-------|-------|-------|
| 売 上 額 | 10月～12月と比較 | ▲17 | ▲50   | ▲41   | 17    |
|       | 4月～6月の見通し  | ▲12 | ▲50   | ▲12   | 0     |
| 収 益   | 10月～12月と比較 | ▲27 | ▲50   | ▲59   | 11    |
|       | 4月～6月の見通し  | ▲7  | 0     | ▲18   | 0     |
| 販売価格  | 10月～12月と比較 | 24  | 17    | 29    | 22    |
|       | 4月～6月の見通し  | 17  | 33    | 29    | 0     |
| 仕入価格  | 10月～12月と比較 | 46  | 67    | 41    | 44    |
|       | 4月～6月の見通し  | 39  | 67    | 53    | 17    |
| 在 庫   | 10月～12月と比較 | ▲3  | ▲17   | 6     | ▲6    |
|       | 4月～6月の見通し  | 7   | 0     | 6     | 11    |
| 資 金 繰 | 10月～12月と比較 | ▲22 | ▲67   | ▲18   | ▲11   |
|       | 4月～6月の見通し  | ▲20 | ▲67   | ▲18   | ▲6    |

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（24年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先25%、「変わらず」の先41%、「減少」した先34%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲9となり、前回調査より11ポイント改善しました。

収益は「増加」した先20%、「変わらず」の先49%、「減少」した先31%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲11となり、前回調査より3ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

|    |               | 増加 | 変わらず | 減少 | D I 値 |
|----|---------------|----|------|----|-------|
| 売上 | 前回<br>(24/12) | 8  | 12   | 15 | ▲20   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 9  | 14   | 12 | ▲9    |
| 収益 | 前回<br>(24/12) | 8  | 14   | 13 | ▲14   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 7  | 17   | 11 | ▲11   |

動向

【前年同期との比較】

売上、収益ともに改善となりました。  
内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲23→今回▲8
- ・ 同 収益：前回▲8→今回▲15
- ・ 建築売上：前回▲18→今回▲6
- ・ 同 収益：前回▲18→今回▲6

【直前3ヵ月との比較】

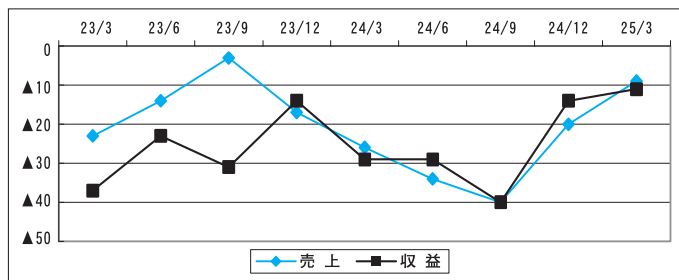
売上、収益ともに悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益ともに改善の見通しです。

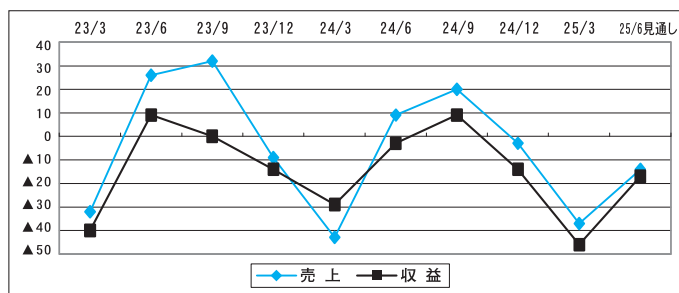
調査員のコメントには、「法改正によりスケジュール長期化と価格高騰が見込まれる」、「公共工事、住宅とも順調に推移」「地元公共工事の中止により売上減少の見通し」、「公共工事の先行きが暗く、新たな営業活動等の取組が必要」といったものがありました。

前年同期比 D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上   | ▲23  | ▲14  | ▲3   | ▲17   | ▲26  | ▲34  | ▲40  | ▲20   | ▲9   |
| 収益   | ▲37  | ▲23  | ▲31  | ▲14   | ▲29  | ▲29  | ▲40  | ▲14   | ▲11  |

直前3ヵ月比 D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上   | ▲32  | 26   | 32   | ▲9    | ▲43  | 9    | 20   | ▲3    | ▲37  | ▲14     |
| 収益   | ▲40  | 9    | 0    | ▲14   | ▲29  | ▲3   | 9    | ▲14   | ▲46  | ▲17     |

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（%）

| 項目   | 全体         | 土木  | 建築  | その他 |     |
|------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 売上額  | 10月～12月と比較 | ▲37 | ▲46 | ▲24 | ▲60 |
|      | 4月～6月の見通し  | ▲14 | ▲23 | 6   | ▲60 |
| 施工高  | 10月～12月と比較 | ▲43 | ▲62 | ▲24 | ▲60 |
|      | 4月～6月の見通し  | ▲17 | ▲23 | ▲12 | ▲20 |
| 収益   | 10月～12月と比較 | ▲46 | ▲62 | ▲29 | ▲60 |
|      | 4月～6月の見通し  | ▲17 | ▲31 | ▲12 | 0   |
| 請負価格 | 10月～12月と比較 | 12  | ▲23 | 41  | 0   |
|      | 4月～6月の見通し  | 9   | ▲8  | 24  | 0   |
| 材料価格 | 10月～12月と比較 | 46  | 54  | 41  | 40  |
|      | 4月～6月の見通し  | 49  | 62  | 41  | 40  |
| 在庫   | 10月～12月と比較 | 3   | 0   | 6   | 0   |
|      | 4月～6月の見通し  | 0   | ▲8  | 6   | 0   |
| 資金繰  | 10月～12月と比較 | ▲9  | 0   | ▲12 | ▲20 |
|      | 4月～6月の見通し  | 3   | 0   | 12  | ▲20 |

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期（24年1～3月）と比較してみますと、売上で「増加」した先27%、「変らず」の先36%、「減少」した先37%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲10となり、前回調査より7ポイント改善しました。

収益は「増加」した先19%、「変らず」の先39%、「減少」した先42%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲23となり、前回調査より11ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

|    |               | 増加 | 変らず | 減少 | D I 値 |
|----|---------------|----|-----|----|-------|
| 売上 | 前回<br>(24/12) | 13 | 17  | 22 | ▲17   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 14 | 19  | 19 | ▲10   |
| 収益 | 前回<br>(24/12) | 13 | 20  | 19 | ▲12   |
|    | 今回<br>(25/3)  | 10 | 20  | 22 | ▲23   |

動向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳をみましても、全体的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

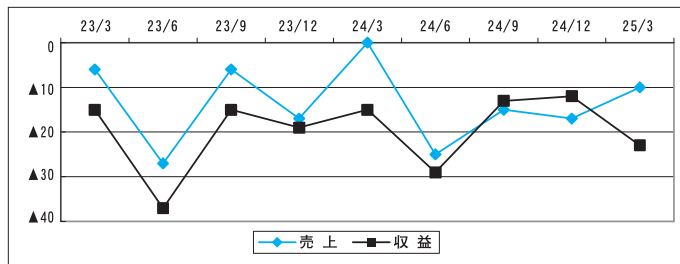
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「増収増益見込みだが、仕入金額が高騰していることが懸念」、「売上、収益はやや減少傾向にあるものの事業基盤は安定している」、「材料費は高騰しているが地域密着の会社であり料金の引き上げができていない」、「低価格のサービスで年齢層関係なく人気を得ている」といったものがありました。

前年同期比

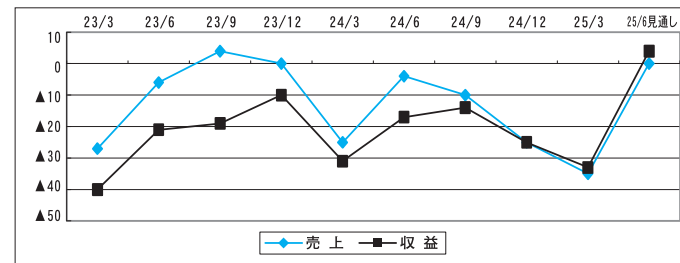
D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|
| 売上   | ▲6   | ▲27  | ▲6   | ▲17   | 0    | ▲25  | ▲15  | ▲17   | ▲10  |
| 収益   | ▲15  | ▲37  | ▲15  | ▲19   | ▲15  | ▲29  | ▲13  | ▲12   | ▲23  |

直前3ヵ月比

D I 値図表



| 調査時期 | 23/3 | 23/6 | 23/9 | 23/12 | 24/3 | 24/6 | 24/9 | 24/12 | 25/3 | 25/6見通し |
|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|---------|
| 売上   | ▲27  | ▲6   | 4    | 0     | ▲25  | ▲4   | ▲10  | ▲25   | ▲35  | 0       |
| 収益   | ▲40  | ▲21  | ▲19  | ▲10   | ▲31  | ▲17  | ▲14  | ▲25   | ▲33  | 4       |

直前3ヵ月比調査の業種別状況（D I 値による）（%）

| 項目   |            | 全体  | 理容美容 | 車両関係 | その他 |
|------|------------|-----|------|------|-----|
| 売上額  | 10月～12月と比較 | ▲35 | ▲22  | ▲50  | ▲31 |
|      | 4月～6月の見通し  | 0   | ▲22  | ▲21  | 17  |
| 収益   | 10月～12月と比較 | ▲33 | ▲22  | ▲29  | ▲38 |
|      | 4月～6月の見通し  | 4   | ▲22  | ▲14  | 21  |
| 料金価格 | 10月～12月と比較 | 8   | 0    | 21   | 4   |
|      | 4月～6月の見通し  | 15  | 0    | 36   | 10  |
| 材料価格 | 10月～12月と比較 | 50  | 11   | 64   | 55  |
|      | 4月～6月の見通し  | 48  | 11   | 71   | 48  |
| 資金繰  | 10月～12月と比較 | ▲21 | ▲44  | ▲29  | ▲10 |
|      | 4月～6月の見通し  | ▲25 | ▲44  | ▲36  | ▲14 |

経営上の問題点 【複数回答】

|       | 1位                | 2位                   | 3位                |
|-------|-------------------|----------------------|-------------------|
| 製造業   | 原材料高<br>45.2%     | 売上の停滞・減少<br>41.9%    | 人手不足<br>35.5%     |
| 卸売業   | 売上の停滞・減少<br>45.5% | 利幅の縮小<br>36.4%       | 人件費の増加<br>36.4%   |
| 小売業   | 売上の停滞・減少<br>56.1% | 仕入先からの値上げ要請<br>36.6% | 商圏人口の減少<br>26.8%  |
| 建設業   | 材料価格の上昇<br>60.0%  | 人手不足<br>57.1%        | 売上の停滞・減少<br>42.9% |
| サービス業 | 売上の停滞・減少<br>48.1% | 材料価格の上昇<br>32.7%     | 人件費の増加<br>28.8%   |

経営施策 【複数回答】

|       | 1位                | 2位                | 3位                 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 製造業   | 経費を節減する<br>51.6%  | 人材を確保する<br>41.9%  | 販路を広げる<br>35.5%    |
| 卸売業   | 情報力を強化する<br>72.7% | 経費を節減する<br>68.2%  | 販路を広げる<br>63.6%    |
| 小売業   | 経費を節減する<br>58.5%  | 品揃えを改善する<br>39.0% | 売れ筋商品を取扱う<br>29.3% |
| 建設業   | 人材を確保する<br>57.1%  | 経費を節減する<br>45.7%  | 技術力を高める<br>42.9%   |
| サービス業 | 経費を節減する<br>50.0%  | 販路を広げる<br>42.3%   | 人材を確保する<br>26.9%   |

【調査要領】

- 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
- 調査時点 2025年 3月  
2025年 1月～ 3月期の実績および見込み  
2025年 4月～ 6月期の見通し
- 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）  
回答企業数 181社  
回答率 100%
- 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査  
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
- 業種別回答企業数

| 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 建設業 | サービス業 | 合計  |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 31  | 22  | 41  | 35  | 52    | 181 |

6. 分析方法

各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート

# インターネットバンキング

WEB-FB

■総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

## 低コスト!

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。  
専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

## 効率的!

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。  
振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

## 便利!

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。  
また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

## 安心!

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。  
登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。  
電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

## オホーツク圏経済情勢報告（令和7年1月判断）概況

|      | 前回(6年10月判断) | 今回(7年1月判断)                             | 前回比較 | 総括判断の要点  |
|------|-------------|--|------|--|
| 総括判断 | 持ち直しつつある    | 持ち直しつつある<br>【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、7期連続】 | →    | 個人消費は、 <u>持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。</u><br>観光は、 <u>回復しつつある。</u><br>また、雇用は、 <u>緩やかに持ち直しつつある。</u> |

|      | 前回(6年10月判断)                        | 今回(7年1月判断)                   | 前回比較 | 備考                     |
|------|------------------------------------|------------------------------|------|------------------------|
| 個人消費 | 物価上昇などの影響がみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u> | <u>持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</u> | ↓    | 下方修正は、令和4年4月判断以来、11期ぶり |
| 観光   | 緩やかに回復しつつある                        | <u>回復しつつある</u>               | ↑    | 上方修正は、2期連続             |
| 雇用   | 緩やかに持ち直しつつある                       | 緩やかに持ち直しつつある                 | →    |                        |
| 公共事業 | 前年を上回る                             | 前年を下回る                       | ↓    |                        |
| 住宅着工 | 前年を下回る                             | 前年を上回る                       | ↑    |                        |

|       |   |
|-------|---|
| 先 行 き | 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 |
|-------|---|

(注)7年1月判断は、前回10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

北海道財務局北見出張所調べ